

基本方針

要介護者について、その居宅においてまたはサービスの拠点に通わせ、もしくは短期間宿泊させ、当該拠点において家庭的な環境と地域住民との交流の下で入浴、排泄、食事などの介護その他の日常生活において自立した日常生活を営むことができるよう療養生活を支援し、心身の機能の維持回復または向上を目指します。

通いを中心に、心身の状態や希望に応じて 宿泊・訪問介護・訪問看護 のサービスを柔軟に組み合わせ、医療依存度が高くても、安心して在宅療養ができる必要な支援をしていきます。

社会福祉法人東京すみれ会では、「助け合い・分かち合い・喜び合い」の3つをテーマに施設を通じて社会の一員として再認識していただき、今後の目標づくりと生活支援・生きがいへと結び付けていただきたいと願う。

令和4年5月1日に、看護小規模多機能ホームすみれサテライトを開設しましたが、職員不足もあり、定員18名中、12名で空きが6名あります。来年度は、本体、サテライト共に積極的に新規の受け入れを行っていきます。新規利用者の獲得には、主に包括支援センター及び近隣の病院、地域のケアマネ事業所に営業していき、利用者確保に努めます。職員の増員も随時行っていきますが、職員に対しての指導、育成にも力を入れていきます。

支援目標

- (自立支援) 「出来そうなことは出来るように」「出来ていることをしていることに」
- (家族支援) ご家族様の思いを大切に、より良い関係を築いていけるようにいたします。
- (地域支援) 地域とのつながりを大切に、ご利用者様と地域社会を繋ぐ支援をいたします。
- (環境支援) いつもニコニコ笑顔で過ごせる環境づくりに励みます。
- (個別支援) ご利用者様の個性を尊重し、その人らしい生活が出来るように支援いたします。
- (職員目標) ご利用者様に寄り添い、尊厳を尊重し、有する能力に応じた自立支援をいたします。

事業計画

1. 良質なサービスの提供。
2. 地域に出向いてのご利用者様の暮らしを支える。
3. 事業所の環境整備、事業所に足を運びやすい工夫。居心地の良い空間づくり。
4. 地域とのかかわりを大切にする。地域に周知され、相談しやすい事業所づくり。
5. 運営推進会議を活かした取り組みを行う。会議に出た意見を改善する。
6. 事業所の防災・災害対策を計画的に行う。
7. 事業所自己評価の実施。事業所評価を計画的に実施する。

1. 対象者

- 65歳以上の要介護認定

(40歳以上の介護保険上の16種類の特定疾病のある方含む)

- 多摩市在住者

登録定員 本体登録定員 29名 通い18名 泊り6名
 サテライト登録定員 18名 通い 12名 泊り4名

2. 職員配置 (本体)

管理者	1名
介護支援専門員	2名 (兼務あり)
看護師	2名 (兼務あり)
(非常勤)	5名 (兼務あり)
理学療法士	1名 (兼務あり) 令和5年4月～
(非常勤)	4名 (兼務あり)
介護職 (常勤) うち介護福祉士7名	9名
介護職 (非常勤) うち介護福祉士2名 ヘルパー3名	5名
調理員 (非常勤)	2名
運転手 (非常勤)	1名
事務員 (常勤)	1名
非常勤	1名

(サテライト)

管理者	1名 (兼務あり)
介護支援専門員	1名 (兼務あり)
看護師	1名 (兼務あり)
(非常勤)	2名 (兼務あり)
理学療法士	1名 (兼務あり)
(非常勤)	1名
介護職 (常勤) うち介護福祉士 4名	5名 (兼務あり)

介護職（非常勤） うち介護福祉士 名 ヘルパー 名	5名
運転手（非常勤）	2名
事務員（非常勤）	2名（兼務あり）

3. 業務目標

- ・利用者が過ごしやすい環境整備を目指す。
- ・職員同士で働きやすい環境整備を目指す。（整理整頓、報・連・相）
- ・出来ないと思って止まらず、出来るに進める職場にしていきます。

4. 研修計画

毎月1回 施設内で研修を実施します。

外部研修 多摩市介護保険事業者連絡協議会研修
東京都社会福祉協議会研修
介護支援専門員部会研修

5. 行事予定

月	行 事	場 所
4月	お花見 消防訓練	市内散策（事業所毎）
5月	端午の節句・菖蒲湯・母の日 運営推進会議	各事業所
6月	紫陽花祭り 父の日	各事業所
7月	七夕 運営推進会議	各事業所
8月	すみれの夏祭り	1階ベランダ
9月	敬老会 運営推進会議 消防訓練	各事業所
10月	バスハイク（グループ別）	未定
11月	菊祭り 運営推進会議	高幡不動尊

12月	クリスマス会 餅つき	各事業所 すみれの駐車場
1月	初詣・どんと焼き 運営推進会議	近隣神社
2月	節分 梅祭り	各事業所
3月	ひな祭り 運営推進会議	稲城市上谷戸親水公園